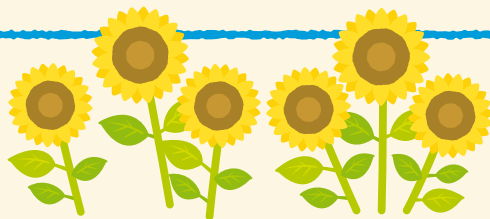




ケンブンスイッチ

8月号



9月1日が「防災の日」になった背景をご存知ですか？

9月1日が「防災の日」に制定されたのは、1960年のこと。9月1日は関東大震災（1923年）が起きた日ですが、それに加えて台風災害への備え、特に前年1959年9月の伊勢湾台風の襲来が、「防災の日」制定の契機となりました。その被害は、全半壊流失家屋15万3,893戸、死者行方不明者5,101人、負傷者3万8,917人という甚大なもの。上陸時929hPaという低い気圧と強風が伊勢湾奥に海水を吹き寄せ、高さ4m近い高潮が発生。名古屋市南部や近隣の村々を海水に沈め、貯木場の巨大な丸太が流れ出して人々を襲ったのです。

また、この被害が災害対策の見直しを迫り、1961年に「災害対策基本法」が公布されました。防災計画の作成、災害予防、災害発生時の対策や救援、復旧などの基本が明文化されたのです。防災といえば、自治体ごとや、ご家庭での対策に目が行きがちですが、殆どの勤労者は会社で日中の大半を過ごすわけですから、

職場に於ける防災対策もきわめて重要。皆さんの中にも、ご自宅のハザードマップや避難先は知っていても、勤務先のそれは覚えていない、という方が多いのでは？ いざというのために、勤務中の災害対策をまとめた、自社版の防災ハンドブックなどがあれば便利です。そのような企画をお考えなら、実績豊富な研文社にご相談ください。

